

別 冊

議案第7号

平成22年度富津市水道事業会計補正予算（第2号）

（総則）

第1条 平成22年度富津市水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量）

第2条 平成22年度富津市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第2条に定めた業務の予定量を次のとおり補正する。

	（既決予定量）	（補正予定量）	（計）
（1）給水戸数	18,299 戸	81 戸	18,380 戸
（2）年間総給水量	6,036,035 m <sup>3</sup>	△94,900 m <sup>3</sup>	5,941,135 m <sup>3</sup>
（3）一日平均給水量	16,537 m <sup>3</sup>	△260 m <sup>3</sup>	16,277 m <sup>3</sup>
（4）主要な建設改良事業			
拡張工事費	108,228 千円	△4,834 千円	103,394 千円
改良工事費	551,991 千円	△81,899 千円	470,092 千円

（収益的収入及び支出）

第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収 入			
第1款 水道事業収益	1,544,084 千円	△39,213 千円	1,504,871 千円
第1項 営業収益	1,502,976 千円	△39,214 千円	1,463,762 千円
第2項 営業外収益	41,107 千円	1 千円	41,108 千円
支 出			
第1款 水道事業費用	1,529,679 千円	△6,259 千円	1,523,420 千円
第1項 営業費用	1,403,959 千円	△8,008 千円	1,395,951 千円
第2項 営業外費用	125,110 千円	1,749 千円	126,859 千円

（資本的収入及び支出）

第4条 予算第4条本文括弧書中資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額「343,526 千円」を「336,293 千円」に、当年度消費税及び地方消費税資本的

収支調整額「24,910千円」を「20,788千円」に、過年度分損益勘定留保資金「318,616千円」を「315,505千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
収 入			
第1款 資本的収入	596,838千円	△79,500千円	517,338千円
第1項 企業債	510,100千円	△79,500千円	430,600千円
支 出			
第1款 資本的支出	940,364千円	△86,733千円	853,631千円
第1項 建設改良費	661,719千円	△86,733千円	574,986千円
(企業債)			

第5条 予算第5条に定めた企業債の限度額を次のとおり補正する。

起債の目的	限 度 額			起債の方法	利率	償還の方法
	既決予定額	補正予定額	計			
第3次拡張事業	65,400千円	△3,400千円	62,000千円	普通貸借又は証券発行	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融資条件による。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還若しくは低利に借換えすることができ
配水管整備事業	170,500千円	△34,100千円	136,400千円			
老朽管更新事業	31,100千円	△2,100千円	29,000千円			
施設整備事業	243,100千円	△39,900千円	203,200千円			

平成23年2月25日提出

富津市長 佐久間 清 治

#### 提案理由

収益的収支においては年間総給水量の減に伴う減額を、資本的収支においては建設事業費の確定等に伴う減額をするものである。